

児童会・生徒会活動の活性化に向けた研究会

児童会・生徒会活動の活性化に向けた研究会の活動

I 研究の内容

1 活動目標

ア 助け合い・ボランティア活動・環境問題・平和を守ることなどに対する活動を活発にします。

- ・社会奉仕活動を推進します。
- ・身体の不自由な人への関心を高め、積極的に協力します。
- ・平和と環境を守る活動に関心を高めていきます。

イ 教育祭「子ども・保護者・教職員の会」を成功させます。

ウ 私たちの声を、県や市町村に強く要望していきます。

以上の目標を立て本年度取り組んでいきたいと思ひます。そして、代表者会、子ども・保護者・教職員の会開催、古切手集めなどの県の児生連活動にも参加協力していきたいと思ひます。

2 経過報告

- | | |
|-----------|-------------------------------------------------------|
| 6月15日(木) | 東山梨地区 児童会・生徒会活動の活性化に向けた研究会
(東山梨地区 第1回顧問の会(勝沼中学校)) |
| 7月 4日(火) | 東山梨地区 児童会・生徒会活動の活性化に向けた研究会
(東山梨地区代表者会(勝沼中学校)) |
| 7月 6日(木) | 県 第1回県代表委員会(県立図書館) |
| 11月14日(火) | 東山梨地区「子ども・保護者・教職員の会」(勝沼中学校) |
| 11月24日(木) | アフリカ飢餓救援活動(お米・募金)しめ切り |
| 2月 2日(金) | 古切手・ベルマーク等の最終しめ切り |
| 2月15日(木) | 県 第2回県代表委員会(山梨県教育会館)
知事(教育長・県議会議長)と語る会 要望書提出(山梨県庁) |
| 2月27日(火) | 東山梨地区 児童会・生徒会活動の活性化に向けた研究会
(東山梨地区 第2回顧問の会(教育会館)) |

II 成果と課題

1 地区児童会・生徒会活動の活性化に向けた研究会[地区代表者会] (勝沼中学校)

2017年度東山梨児童生徒連絡協議会としての活動目標や活動計画について話し合い、今年度も「助け合い・ボランティア活動・環境問題・平和を守ること」を中心に活動を進めること、教育祭「子ども・保護者・教職員の会」を成功させること、私たちの声を県や市に要望していくことを全体で確認した。

学習会では、山梨県教育庁義務教育課の指導主事より藤原先生をお招きすることができた。エコ活動「自分たちができることからはじめよう」と題して、今地球が抱えている問題、それにより苦しんでいる人がたくさんいる現状を知り、思いやりの心は世界に向けて発信できるということを学ぶことができ、貴重な機会となった。

2 東山梨「子ども・保護者・教職員の会」(勝沼中学校)

分科会では児童会3分科会、生徒会2分科会の5分科会にわかれ、研究討議が行われた。参加した児童生徒自身が、各自に任された係分担をしっかりとこなしながら、学び合う場となった。それぞれの提案校からは、児童会・生徒会活動の実践報告が文書資料やパワーポイントを利用してなされた。各校とも素晴らしい実践発表であった。また、実践発表を元に各校の取り組みの様子などの意見交換が活発に行われた。全体会では、役員校を中心に会を進め、各分科会の報告と共に、今後の主な活動内容である古切手回収などのボランティア活動についても確認された。東山梨の学校が集まったの集会で交流が深まった。

3 県「知事・教育長・県議会議長と語る会」(山梨県庁)

山梨県教育会館において、第2回県代表者会が2月15日(木)に開催された。知事と語る会の内容検討と今年度の児生連活動の反省を、各支部を代表して出席した児童・生徒が話し合った。その後山梨県庁に移動し、後藤知事・守屋教育長・白壁県議会議長と語る会が行われた。勝沼中、井尻小の会長がそれぞれの学校での取り組みや要望を伝えた。後藤知事からは、色々なたすきをつなぎながら活動ができている、10年後そして20年後このふるさとを守ってほしい、また、白壁議長からは自分はこうなりたい、こういう大人になりたいという方向を自分で考えて決めていくこと、あいさつ運動推進への励ましをいただいた。

4 ボランティア活動について

本年度も様々なボランティア活動に各校協力していただいた。

- ・ アフリカ救援米 766.5kg , 輸送費募金 287,100円
- ・ 古切手 36.1kg ・ ベルマーク 2,640g

各校の取り組み及びご協力に感謝したい。

(児童生徒連絡協議会担当 飯島 春奈)